

# 茨城の国語教育

## 第二十号

### 目次

多重知能理論を基にした 中学校国語科における授業プログラムの構築	古川 理彩	1
語彙親密度を基にした教科書教材と学習者の語彙分析	鈴木 一史	12
国語教育における国語学分野の課題	鈴木 裕也	23
幼児期の文字指導に関する課題	齋木 久美	32
国語科教育・授業における 辞書の利用・活用の指導に関する検討	昌子 佳広	43

## 編集後記

本号は会員からの投稿論文を掲載することができました。古川氏は茨城大学教育学研究科を修了後、茨城の国語教員として日々実践と研究とに精進し活躍されています。このように、本学会誌は実践と研究とを高次で融合させた論考を世に発信していくことによって、茨城の国語教育、ひいては日本の国語教育を牽引していくことを目指しています。そこで、卒業生をはじめとした会員皆様の実践研究の論考をお待ちしております。論文投稿をご希望の方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

本学会は、昨年度から規約を変更し、会費納入後は永年会員となります。会則や研究会案内などは国語教育学会のホームページに掲載されていますので、ご確認ください。

[<https://kokugo.edu.ibaraki.ac.jp/kokugo/>]

(鈴木K)

### 茨城の国語教育 第二十号

令和七年三月三十一日 発行

編集兼  
発行

茨城国語教育学会

代表 齋木久美

〒310-8512 水戸市文京二ノ一

茨城大学教育学部国語教育教室

電話 〇二九上二二八八二二三